

県立図書館では、貴重な資料を後世へ伝えるため、様々な資料保存の取組を実施しています。

膨大な資料を書庫で保存



県立熊谷図書館の外部書庫には、約88万冊の資料（図書約45万冊、雑誌約40万冊、視聴覚資料約3万点、他に新聞等）があります。

写真は、外部書庫の中でも一番大きな部屋です。膨大な数の蔵書を保管していることがお分かりいただけると思います。数十メートル先までびっしりと設置された書架に蔵書が収められていて、圧巻の光景です。

県立図書館では、県民の貴重な財産である蔵書の適切な運用管理に努めています。

貴重資料のデジタル化



県立図書館ウェブサイト、デジタルライブラリーの「埼玉県地誌略」【1877年（明治10年）刊】から抜粋です。

この資料は、埼玉県が発行しており、当時の小学生向け地理教科書です。県内の景勝地なども挿絵で紹介しています。

今年は明治150年の節目の年です。改めて、近代の歴史などに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

県立図書館では、このように貴重資料をデジタルし、その画像をウェブサイトで公開しています。県立熊谷図書館が所蔵している資料のうち、貴重書（和書や錦絵など58点:147冊）、絵図（11点）、図書（74冊）、雑誌（21タイトル:173冊）の画像を見ることができます。

《埼玉県立図書館デジタルライブラリー》

(https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/data/d_conts/index.html)



移管による雑誌の受入・保存

県立図書館では、県内の市町村立図書館で保存期間を過ぎ廃棄対象となった雑誌の中から、熊谷、久喜各館の分担分野に沿ったタイトルを選択し、受入れています。県域における最終的な保存の役割を担っています。保存の観点から、発行後2年以上経過した雑誌は館内をご利用いただいております。



長い年月をかけて蓄積した雑誌は、調査や研究に役立つ貴重な資料群となります。インターネットでいろいろな情報を集められるようになりましたが、雑誌記事が唯一の情報源であることもしばしばあります。県立図書館では、多種多様なタイトルを収集し、より多くの情報を提供できるように移管雑誌の収集・保存にこれからも努めていきます。

新聞地域版の保存



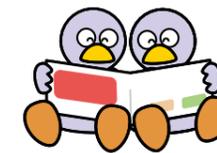
マイクロフィルム

県立図書館では、新聞の全国紙の地域面、いわゆる「埼玉版」の原紙を製本して保存しています。

刊行されている新聞の縮刷版では、「埼玉版」は掲載されていませんが、県立図書館では、地域の資源として、「埼玉版」を保存しています。

また、現物の新聞は、時間の経過とともに、どうしても劣化してしまいます。

そこで、貴重な資料を後世まで伝えるため、その内容をマイクロフィルム版でも保存しています。県立図書館では、このように、地域資料を保存する地道な取組を継続して実施しています。



埼玉県マスコット「コバトン」